

平成29年度 第3号  
長崎県立ろう学校 自立活動部

### 豆知識

各社で、人工内耳の新しい機種が発売されていますが、それに伴って古い機種の修理受付や部品販売が終了しつつあります。既に、昨年12月で終了となった機種もあります。自分の機種が対象になっていないか確認をしておいてください。  
詳しくは、自立活動部の先生に尋ねてください。

## 新校舎で Roger が使えるようになります

いよいよ4月から新しい校舎での生活が始まります。それに向けて引っ越しの準備が着々と進んでおりますが、皆さんの周りにも既に運ばれている荷物があるのではないのでしょうか。

学校の移転に併せて、補聴援助システムも新しくなることが決定しました。そこで今回は、新しい補聴援助システム (Roger: ロジャー) の紹介をしたいと思います。

Q1: ロジャーって何?

A1: ロジャーとは、難しい言葉で説明するとデジタル無線方式の補聴援助システムです。授業中の先生の声、皆さんの補聴器や人工内耳に直接届けることができるものです。先生と離れていても、皆さんの耳元で先生が話をしてくれている状態を作り出すことができます。そのため、雑音や反響音の影響を受けることが少ないです。



Q2: 今までの補聴援助システムとは何が違うの?

A2: 今までの補聴援助システムはFM波という電波を使用していましたが、ロジャーはデジタル無線と呼ばれるものを使用しています。使用する電波の種類が変わります。

Q3: FM波からデジタル無線に変わることの良いことは?

A3: 一番は音質の向上です。FM波の場合、「サー」という雑音がどうしても入ってしまいますが、デジタル無線を使用しているロジャーの場合、その雑音が全く入りません。そのため、音や声を雑音に邪魔されることなく聞くことができます。

Q4: FM波からデジタル無線に変わることの悪いことは?

A4: あまり無いのですが、あえて言うなら通信距離が短くなることでしょうか。FM波の場合、見渡しの良いところであれば30~50m離れていても電波が届きます。しかし、デジタル無線の場合は20m程度であり、安定させるためには15mが適しています。ただ、使用する環境は主に教室の中ですので、通信距離が短くても十分に使うことができます。

Q5:電波は混信しないの？

A5:FMやロジャーにも言えることですが、使用するためには話し手の送信機と聞き手の受信機のチャンネルを合わせる必要があります。しかし、ろう学校で使っているFMの場合、そのチャンネルが16種類しかありません。そのため、通信可能な距離の中で他に同じチャンネルを使用している人がいると、その人の声も聞こえてきてしまいます。自分のクラスの授業で話す先生の声を聞きたいのに、他のクラスの先生の声が聞こえてくることあるのです。しかし、ロジャーの場合は、チャンネルの数が無限に近いくらいあります。そのため、他のクラスの授業で話す先生の声が聞こえてくることもありません。

Q6:どんな機械を使うの？

A6:今までのFMと同じように、送信機と受信機を使います。

これまでは、マイクと送信機、受信機と補聴器・人工内耳をコードで繋げる必要がありました。そのため、FMの着脱がわずらわしかったり、コードが邪魔になったり切れたりすることもありました。しかし、ロジャーは首に掛けるだけで使えるようになります。着脱のわずらわしさや、コードが切れる心配もありません。受信機については、首に掛けるタイプの他に補聴器や人工内耳に直接装着できるものもあります。

【 送信機 】

【 受信機 】



Q7:他にも、ロジャーで便利になることはないの？

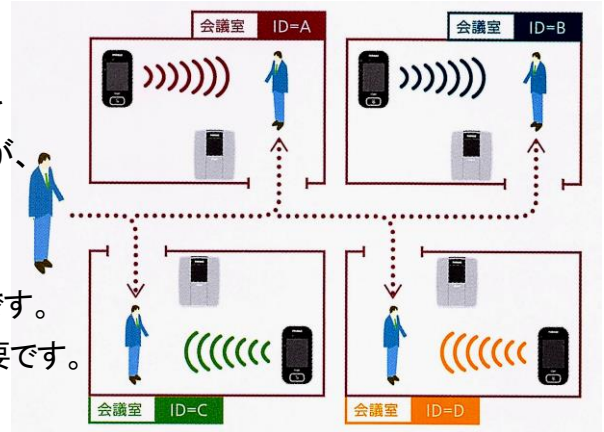
A7:今までは、教室ごとにチャンネルを設定していましたので、教室を移動してFMを使用する場合は、その教室のチャンネルに切り替える必要がありました。そのため、チャンネルを切り替え忘れるとFMが使えない状態になることもありました。

しかし、今回のロジャー導入に合わせて、「ウォールパイロット」というものを各教室に設置することになりました。

【 ウォールパイロット 】



「ウォールパイロット」とは、面倒なチャンネルの切り替えを自動的に行ってくれるものです。教室の入口に設置しますが、その近くを受信機が通過するだけで設置された教室のチャンネルに切り替わります。ですので、チャンネルの切り替えを気にすることなくロジャーを使うことができます。ただし、受信機よりも先に送信機が教室内にあることが必要です。



どうでしたか？新しい補聴援助システム「ロジャー」に興味を湧いてきたのではないのでしょうか。早く使ってみたいと思った人もいるかもしれません。

私が初めてロジャーを体験したときは、とにかく音や声がとてもきれいに聞こえることに驚きました。今回、いくつかの写真を載せていますが、実物を見てみたいと思う人は業者さんより実物をお借りしていますので聴能室にいつでも見に来てください。